

決算総括質疑通告議員

令和元年第5回（9月）定例会

1 宮 澤 一 照

2 堀 川 義 徳

3 霜 鳥 榮 之

4 高 田 保 則

決算総括質疑通告要旨

令和元年第5回（9月）定例会

1 宮澤 一 照

1 地方創生推進事業に関連して

- 1) 地方創生に向けた調査研究における事業の成果と課題はどのようなか。
- 2) 地域創生推進計画との関連性はどのようなか。

2 妙高高原支所移転事業について

支所の機能の充実と利用状況はどのようなか。

3 企業立地促進事業について

企業立地促進事業の成果と効果はどのようなか。

4 関山神社周辺文化財総合調査・整備事業について

旧関山宝蔵院庭園の植栽整備にかかる、実施設計業務委託の内容と今後の見通しはどのようなか。

5 スキーのまち妙高推進事業について

スキーのまち妙高を盛り上げていくために、どのような取り組みが行われたのか。

6 妙高版DMO地域経営推進事業について

（一社）妙高ツーリズムマネジメントが行う、観光戦略プランに基づく戦略的な観光施策について、どのような支援が行われたのか。

7 観光施設整備事業に関連して

- 1) 高谷池ヒュッテ増築工事の実施状況はどのようなか。
- 2) 登山道整備の実施状況はどのようなか。

8 都市と農村交流推進事業に関連して

農家民泊の受け入れ体制拡大と教育体験旅行誘致拡大の取り組みの成果は。

9 交流推進施設維持管理事業について

クラインガルテン妙高の入居状況はどのようなか。

10 児童扶養手当・特別児童扶養手当支給事業について

児童扶養手当、特別児童扶養手当支給の実績はどのようなか。

2 堀川義徳

1 協働型地域コミュニティ創出事業について

- 1) 町内会長会議の内容と意見集約についてどのようなか。
- 2) 地域課題を解決するための話し合い支援の成果についてどのようなか。
- 3) 中山間地域等へのコミュニティ支援の成果についてどのようなか。

2 地方創生推進事業について

- 1) 地域力創造アドバイザーの提言内容についてどのようなか。
- 2) 各種事業の創出に向けた調査研究の成果と今後の見通しについてどのようなか。
- 3) 妙高わかもの会議の成果と反省についてどのようなか。

3 家庭児童相談・子どもの虐待防止事業について

- 1) 妙高市における児童虐待数の推移と内容についてどのようなか。
- 2) 他自治体との情報共有や連携についてどのようなか。

4 妙高ふるさと暮らし応援事業について

- 1) 移住定住支援員の業務内容についてどのようなか。
- 2) ひとり親家庭への移住支援について、成果はどのようなか。

5 スポーツ施設管理運営事業について

各施設の使用料と施設維持管理委託料についてどのようなか。

1 国民健康保険特別会計について

- 1) 県広域化の評価はどのようなか。
- 2) 今後の動向をどのようにみているか。
- 3) 協会けんぽとの格差是正について、状況はどのようなか。
- 4) 保険税率について、平成 30 年度では、医療給付費分の所得割額が県下 9 番目の 7.32%、後期高齢者支援金等分の所得割が県下 1 の 3.24%。令和元年度では、医療給付費分が 10 番目と後期高齢者支援金分が 1 番目になっているが、この実態についての考えはどのようなか。
- 5) 少子化対策や子育て支援に逆行する人頭税とも言われる均等割額について、せめて子ども分の減免の考えはどのようなか。

2 E S C O 事業について

- 1) 契約年度、契約年数と契約内容についてはどのようなか。
- 2) L E D 街路灯管理実態について、現在、特に集落間や車の多い所での消えている街灯がかなり見受けられるが、L E D 街路灯の総数、修理状況や管理実態はどのようなか。
- 3) 事業計画時の想定と現状について、経費を含めどのようなか。
- 4) 今後の対応等について、契約が切れた後の対応等はどのようなか。

3 生命地域妙高環境会議事業について

- 1) 奥山、里山、里川の再生・保全プロジェクトの具体的な事業実態についてはどのようなか。
- 2) エコツアーの開催と今後の対応についての考え方はどのようなか。
 - ① エコトレッキングからエコツアーになり、エコツアーがなくなって、森里川海「自然体験講座」となった。この経緯についてはどのようなか。
 - ② 森里川海「自然体験講座」もなくなりそうだが、今後の対応についての考えはどのようなか。

4 生活交通確保対策事業について

- 1) 平成 30 年度予算質疑では、買い物難民の解消に向けて、路線バスのルート変更と共に、市内の循環バスの提起もなされたが、その後の対応はどのようなか。

- 2) サンライズの閉店により、朝日町のバス停を移動してほしいとの声も出ている。
対応はどのようなか。

5 鳥獣対策事業について

何回も議論はしたが、平成 30 年度の実態を踏まえたなかで、鳥獣対策についてどのようなか。

大型鳥獣の出没時期にきている。現在でも、熊の目撃情報は毎日のようにある。農作物の被害も多く、苦情もいろいろ聞く。

- 1) イノシシの目撃情報と有害鳥獣の被害状況の実態はどのようなか。
- 2) グリーンシーズンでの捕獲計画と実態はどのようなか。
- 3) GPS 機能付デジタルカメラの活用により、生息域や被害状況のデータが蓄積されてきていると考えるが、今後の取り組み計画はどのようなか。
- 4) 狩猟期に向けた基本的な計画も具体化していかなければならないが、どのようなか。

6 ため池の維持管理上の課題等について

防災ため池の定義と維持管理の課題について、ため池台帳をベースに防災・減災対策として始まった。

県や市でもすでにため池維持管理上の課題等をまとめる作業も行い、ハザードマップを作成し、地域住民への周知を図ってきている。現況のため池の概況では、廃止のため池も出ている。

市全体では 154 のため池のうち、85 が廃止、69 が利用となっている。

安全管理上、防災、減災をふまえた今後の対応策はどのようなか。

4 高田保則

1 空き家等適正管理事業について

把握した空き家の管理について、どのような管理がされているか。

2 交通安全施設整備事業について

交通安全施設整備事業における各種交通事故防止等については、どのような基準で整備を進めているのか。

3 観光施設整備事業について

燕温泉登山口広場測量委託の内容はどのようなであったか。

4 生活交通確保対策事業について

市営バス赤倉線の経路について、田切、二俣地内においてバスは集落内ではなく、国道を通っている。買い物や病院へ行く利用者のニーズを考えた運行経路の変更など、取り組み状況はどのようなか。

5 生命地域妙高環境会議について

ライチョウ保護の対策の取り組みはどのように行われたか。

6 鳥獣対策事業について

鳥獣対策の成果はどのようなか。